無人店舗「よりみちフレスタ」2026年11月28日（土）オープン

2026. 11. 18

この情報をシェアする Tweet

2026年11月18日
株式会社フレスタホールディングス
株式会社フレスタ

創業140周年プロジェクト、始動。第1弾は「廃校再生」
旧南方小学校の教室が、地域の“ちいさなスーパー”に
無人店舗「よりみちフレスタ」2026年11月28日（土）オープン
～若手社員が発案。キャッシュレス・無人運営で「買い物に行けない」をなくす、製造小売業の地域課題への挑戦～



株式会社フレスタ（本社：広島県広島市、執行役員社長：谷本満）は、創業140周年を記念して始動した「いちよんまるっとプロジェクト（140周年PJ）」の第1弾として、広島県山県郡北広島町の旧南方小学校の教室を活用した無人の超小型店舗「よりみちフレスタ」を、2026年11月28日（土）にオープンいたします。

本店舗は、140周年PJに参加する若手社員が、140年の歩みとの対話を通じて発案した企画です。従業員を常駐させず、キャッシュレス決済のみで運営する新しいモデルにより、山間部の暮らしが抱える「買い物の行動負担」という社会課題に、食をつくり、届ける製造小売業として向き合います。オープン当日は、地域・行政の皆さまをお迎えしてオープニングセレモニーを開催いたします。

【140年の「進取の気性」を、次の世代の手で】

フレスタは1887（明治20）年、広島市横川町の小さな菓子店として創業しました。以来、原爆からの再興、広島初のスーパーマーケット「主婦の店ムネカネ」の開業、生鮮宅配事業の開始と、その時代のお客さまの暮らしに合わせて商いの形を変え続けてきました。その根底に流れるのが、創業の精神「正直な商売」と「進取の気性」です。

創業140周年を迎えるにあたり立ち上げた140周年PJは、「過去との対話、未来との約束」をテーマに、若手社員を中心とするメンバーが140年の歴史を学び直し、これからの10年、20年に向けた挑戦を自ら考える取り組みです。社内公募452件から選ばれた周年キャッチコピー「これからも、この街で、この場所で。」には、地域に根ざし続けるという私たちの約束が込められています。PJから生まれた3つのプロジェクトのうち、最初に形となるのが今回の廃校再生プロジェクトとなります。

【地域の課題は、距離よりも「買い物の行動負担」】

旧南方小学校の周辺は約300人が暮らす山間部の地域で、最寄りのスーパーマーケットまでは約6㎞、車で約15分かかります。とりわけ高齢の世帯にとって、日々の食料品や日用品の買い物は大きな負担です。一方、閉校後の校舎は地域の新たな拠点として再生が進み、イベントの参加者やサテライトオフィスの利用者、近隣の事業所で働く方々の昼食需要も生まれています。

地域の皆さまの思い出が詰まった学び舎を、もう一度、毎日の暮らしを支える場所に――。若手メンバーが描いたのは、そうした「地域の生活導線をつなぎ直す」店づくりです。



店舗を開設する旧南方小学校（北広島町）



校舎に残る教育目標「自信」「夢・目標」「ねばり強く」

【コンセプトは「必要なものを、近くで、迷わず買える」】

品揃え：弁当・おにぎり・パンなど惣菜・ベーカリーを毎日の来店理由に、米・麺・レトルト食品、飲料・菓子、紙類・洗剤などの日用品、地元の商品や季節の商品まで、暮らしに必要なものを厳選してそろえます。

キャッシュレス・無人運営：決済はセルフレジによるキャッシュレスのみとし、従業員は常駐しません。店内に現金を置かないことで防犯面にも配慮しています。

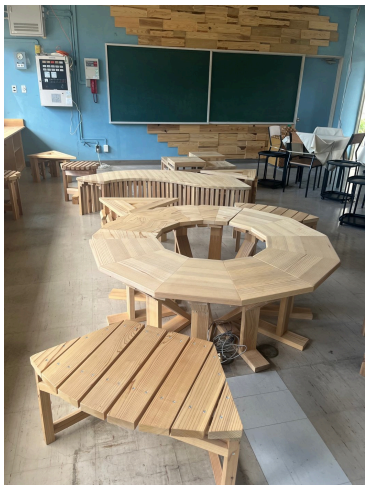
「時間割」で守る品質：近隣のフレスタサンクス店の分店として位置づけ、需要確認・出荷、朝の補充と期限・温度の確認、売れ残りの回収、実績に基づく補充量の更新までを時間割で運用し、人がいなくても品質管理の抜けが起きない仕組みを整えます。

“よりみち”したくなる空間：教室の面影を残しながら、木のテーブルを囲んでひと休みできる、地域の人が自然と立ち寄れる場所を目指します。

【製造小売業だからできる、無人店舗のかたち】

フレスタは、自社のプロセスセンターや店内厨房で惣菜・ベーカリーをつくり、お届けする製造小売業として歩んできました。よりみちフレスタの惣菜は母店であるフレスタサンクス店で製造し、閉店後に回収した弁当やパンは母店で引き続き販売します。つくる・届ける・売り切るまでを自社で一貫して担うことで、無人店舗でも食品ロスを抑えながら、できたてに近いおいしさを山間部の地域にお届けします。

省人化は、ともすれば無機質な店舗運営につながりかねません。私たちは、丼フェスや産直市、季節の甘味イベントなど、食を起点にした地域のにぎわいづくりも視野に入れ、同業他社にはまねのできない「フレスタらしい」、笑顔があふれる無人店舗のモデルを育ててまいります。



木のぬくもりあふれる旧南方小学校の校舎内



旧南方小学校 校舎外観

【地域の皆さまとともにつくる店】

10月13日には、プロジェクトメンバーが北広島町長を訪問し、本プロジェクトの趣旨をご説明いたしました。さらに11月4日には、旧南方小学校に地域の皆さまにお集まりいただいて懇談会を開催し、店舗の目的をお伝えするとともに、商品構成について直接ご意見を伺いました。いただいた声は、オープン時の品揃えに反映しています。

【オープン当日は、オープニングセレモニーと餅まきを開催】

オープン当日の11月28日（土）10時45分より、旧南方小学校にてオープニングセレモニーを執り行います。北広島町長　箕野博司様、広島県議会議員　本長糧太様、株式会社キタヒロ代表取締役　本田正博様よりご挨拶を賜るほか、北広島町役場まちづくり推進課　課長田中淳之様、株式会社フレスタホールディングス代表取締役社長　宗兼陽一、フレスタサンクス店　店長井場嘉紀が出席し、テープカットを行います。

10:45～　オープニングセレモニー（ご挨拶・テープカット）

11:00～　開店

11:30～　餅まき

開店後の11時30分からは、これまで本プロジェクトを温かく迎えてくださった地域の皆さまへの感謝を込めて、餅まきを行います。地域の皆さまとともに、学び舎の新たな門出をお祝いしたいと考えています。当日の取材をご希望の報道関係の皆さまは、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【今後の展望】

まずは小さく始めて検証を重ね、運営モデルを磨き上げてまいります。このモデルが確立できれば、同様の課題を抱える全国の過疎地域にとっての「買い物支援モデル」にもなり得ると考えています。フレスタはこれからも、企業理念に掲げる「食から広がる豊かで快適な暮らし」を、この街で、この場所で、地域の皆さまとともに創造してまいります。

【プロジェクトメンバーのコメント】

> 「会長へのインタビューで『これから10年、20年どうなるのかを考えて準備するのが140周年プロジェクトだ』という言葉をいただき、私たちに何ができるかを考えました。かつて広島の買い物の風景を変えた先輩たちのように、地域の皆さまの『ちょっと困った』を、フレスタらしいやり方で解決したい。思い出の詰まった学校が、もう一度地域の笑顔が集まる場所になればうれしいです。」

【店舗概要】

店舗名	よりみちフレスタ（フレスタサンクス店 分店）
所在地	広島県山県郡北広島町南方１９１８　旧南方小学校 校舎内
オープン日	2026年11月28日（土）※オープン日はAM10:45からオープニングセレモニー
営業時間	11:00～15:00（予定）
決済方法	キャッシュレス決済のみ
主な取扱商品	弁当・おにぎり・パン、米・麺・レトルト食品、飲料・菓子、日用品、地元商品・季節商品
運営形態	従業員常駐なし（補充・品質確認はフレスタサンクス店が担当）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社フレスタホールディングス
経営品質保証グループ：　渡辺
TEL：082-207-4040
E-mail：y_watanabe@fresta.co.jp

新着情報一覧

YouTube fresta channel ムービーチャンネル
Beer,Wine,Sake,Sho-Chu... LIQUORS リカーズ
広島地酒とワインのネットショップ SAKE PLACE by LIQUORS サケプレイス楽天市場店
株式会社 プロフィッシュ
株式会社 プロ・アグリ
広島アグリネット ファーム 幸せのトマトのおいしさのひみつはここから
CGC
株式会社中国シジシー

お客様相談室　TEL：0120-100-365　午前9時 ～ 午後6時（月曜日～土曜日）

メールでのお問い合わせはコチラ

フレスタ公式SNS
エブリデイフレスタ

digicert SECURED

株式会社フレスタ
Copyright by FRESTA Co.,Ltd
FRESTA HOLDINGS